

| | |
|-----|---------------------|
| 事業名 | 分散型エネルギーマスタープラン推進事業 |
|-----|---------------------|

| | |
|------|--------|
| 総事業費 | 593 千円 |
|------|--------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-----------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 新たな産業基盤と雇用環境の整備 |
| | 基本事業名 | 資源の循環的利用の推進 |

② 実施 (Do)

| | | |
|------------------|-----------------------------|---|
| 事業の意図 | ①事業に興味を持ってもらう ②事業を知ってもらう | |
| 事業の実績 と 成果 | 取組内容 | 本年度は課題の解決策などを企業と協議し、課題の解決のため市において事業構築するなど、企業が参入しやすい環境づくりに努めた。家畜ふん尿のバイオマス発電では、施設用地のあっせんや酪農マットの購入助成など事業立案を行ったところである。 |
| | 成果 | H27年度に策定した本市の分散型エネルギーインフラマスタープランの内容を見て、本市へ連絡してくる事業者があるものの、起業した場合の採算性など難点を示す企業がほとんどの状況である。このことから、昨年度は企業と課題点を協議し先進視察を行うなどし、市における対応策（土地あっせん、助成事業）など検討した。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 種子島においては、全国初の出力制御がなされ、参入についても大きな障壁となっており、今後は産官学連携などし水素変換など新たな取り組みを模索する必要がある。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | ・企業側が太陽光、風力、水力、有機廃棄物系バイオマスなど興味を示し調査に参入する傾向が続いている。地元住民や民間企業等も含め、適切な役割分担による事業推進が今後の課題と考える。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|-----------|---|
| 2020年度方向性 | 現在、風力や家畜ふん尿バイオマスなど検討している民間企業があり、それらの企業が事業展開しやすい環境づくりに努める必要があり、昨年度から企業と協議を進めているところである。 |
|-----------|---|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
| | |